

東北地方の 1 か月予報解説資料（予報期間：10 月 27 日～11 月 26 日）

平成 13 年 10 月 26 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）

〔 気 温 〕	東北地方	30	50	20
〔 降 水 量 〕	東北地方	30	40	30
〔 日照時間 〕	東北地方	30	40	30
		低い（少ない）	平年並	高い（多い）

〔 気 温 〕: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「低い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「高い」の可能性は 20％と小さい。

〔 降 水 量 〕: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 40％です。「少ない」と「多い」の可能性はそれぞれ 30％です。

〔 日照時間 〕: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 40％です。「少ない」と「多い」の可能性はそれぞれ 30％です。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

低気圧が周期的に通過し、低気圧の通過後は寒気が入るでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では天気は周期的に変わり、平年同様晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

向こう 28 日間の平年の晴れ日数：東北日本海側約 10 日、東北太平洋側約 17 日

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 期間の初めと中頃に気圧の谷が通り、曇りや雨の所があります
(10 月 27 日～11 月 2 日) が、その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約 3 日、東北太平洋側約 4 日

2 週目…………… 高気圧と低気圧が交互に通り、天気は周期的に変わるでしょう。
(11 月 3 日～11 月 9 日) 低気圧の通過後は寒気が入り、東北日本海側ではしぐれる所がある見込みです。

平均気温は低いでしょう。

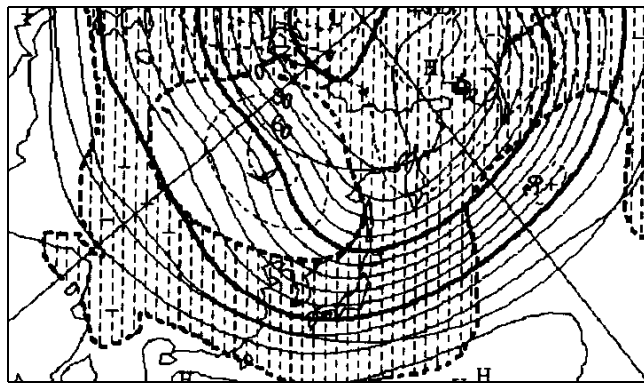
平年の晴れ日数：東北日本海側約 3 日、東北太平洋側約 4 日

3～4 週目…………… 低気圧が周期的に通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置と
(11 月 10 日～11 月 23 日) なるでしょう。東北日本海側では曇りや雨の日が多く、雪の降る日もあるでしょう。東北太平洋側では、天気は周期的に変わり、晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約 4 日、東北太平洋側約 8 日

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

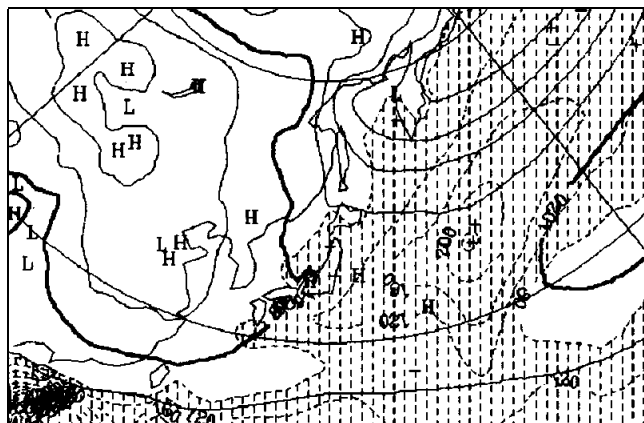


月平均の 500hPa 高度・偏差
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、大陸はバイカル湖付近を中心とした正偏差、日本付近は広く負偏差に覆われる。偏西風の流れは東西流が卓越しており、低気圧が周期的に通過し、通過後寒気の影響を受けやすい。

週別（図略）では、1 週目は日本付近は正偏差に広く覆われる。2 週目以降は、日本付近は負偏差に覆われ、寒気の影響を受けやすくなる。



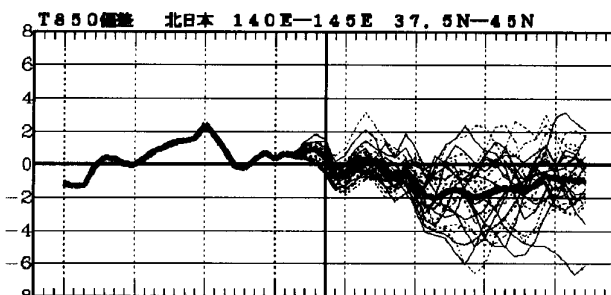
月平均の地上気圧と降水量
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、大陸に高気圧、カムチャッカ半島付近に低気圧。日本付近には特徴がなく周期変化が基調だが、低気圧の通過後に一時冬型の気圧配置になる見込み。

降水域は弱いものが東日本、北日本にかかる。

週別（図略）では、2 週目までは月平均の気圧配置とほぼ同様。3～4 週目は、北日本は弱い冬型の気圧配置。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

（縦軸：気温平年差（℃） 横軸：日付）

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

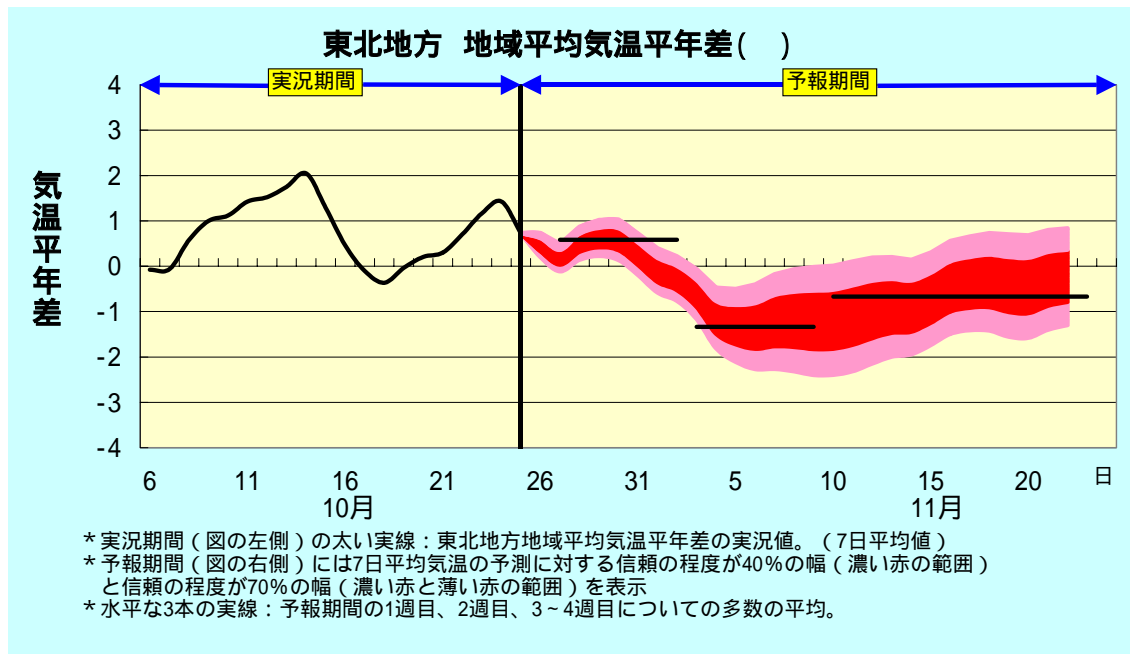
・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1 週目は平年並程度で推移するが、1 週目の終わりから下降し、2 週目は平年を大きく下回る。3 週目以降はやや上昇するが、平年を下回っている。

ただし、各アンサンブルメンバーは 2 週以降バラツキがかなり大きい。

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

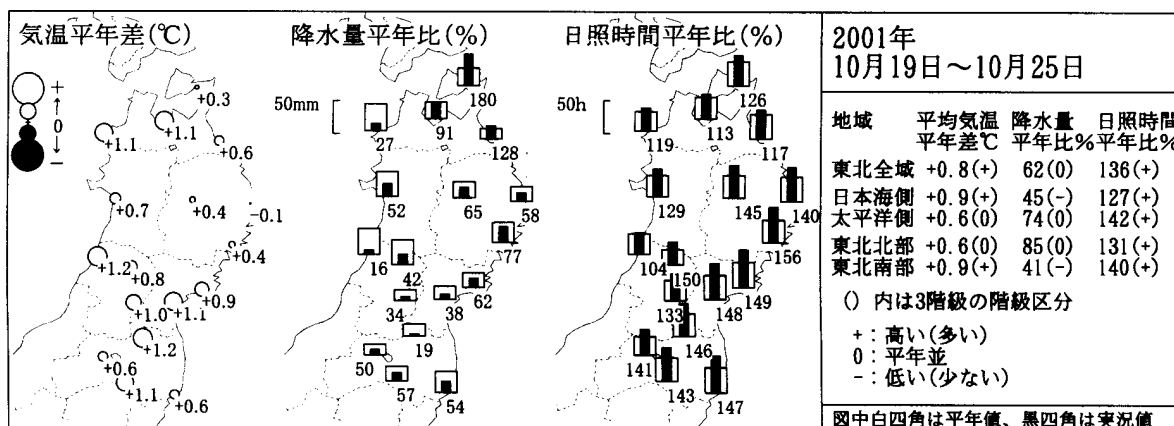
週別の気温は、1週目「平年並」、2週目「低い」、3～4週目「低い」を予測している。
 予報は他の予想資料から3～4週目を「平年並」に修正する。
 なお、予報の信頼度は小さい。



4．最近1週間（10月19日～10月25日）の天候の経過

この期間、天気は周期的に変化した。19～21日は移動性高気圧に覆われ晴れた。22～23日は日本海と本州南岸を進んだ低気圧の影響で天気が崩れた。その後は、寒気の影響で東北日本海側は曇りや雨の所が多かったが、東北太平洋側では高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は、東北北部で平年差+0.6 と平年並、東北南部で平年差+0.9 と高かった。降水量は、東北北部で平年比 85%と平年並、東北南部で平年比 41%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比 136%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）